地域社会学会会報

No.248　　2025 .11.30

地域社会学会事務局　　Office of Japan Association of Regional and Community Studies
〒240-8501　横浜市保土ヶ谷区常盤台　　横浜国立大学都市科学部
齊藤麻人研究室内
TEL　045-339-3291(直)　FAX　045-339-3291　郵便振替　地域社会学会　00150-2-790728
E-mail jarcs.office@gmail.com　　URL　http://jarcs.sakura.ne.jp/

◆…… 〈　会報 248 号のトピック　〉 ……◆

1) 学会ウェブサイト変更と研究例会開催回数についてご案内しています。ご確認ください。
2) 2025年度の会費納入をお願いします。2023年度よりSMOOSYによるクレジットカード決済を原則としています。振込用紙の送付は行っておりませんので、サイトよりご確認お願いします。

目　次

1. 理事会からの報告
2. 研究委員会からの報告
3. 編集委員会からの報告
4. 国際交流委員会からの報告
5. 学会ウェブサイト変更について
6. 研究例会の開催回数について
7. 事務局からの報告
8. 会員異動
9. 会員の研究成果情報
10. 理事会のご案内

2025年度第３回研究例会のご案内

日時　　2025 年 12月 14 日（日）13:30～17:00
会場　　ノートルダム清心女子大学1202JA教室（セント・ヨゼフホールA棟2階）
（対面と ZOOMによるハイフレックス形式）
※アクセス方法等は、開催 2日前をめどに、会員メーリングリストで配信します。

第1報告：「農業被災と気候変動から考える柑橘産地のレジリエンス――宇和島市吉田町における南柑20号の栽培継続戦略とブラッドオレンジの導入過程にみる「適応」 」
報告者　齊藤康則（東北学院大学）

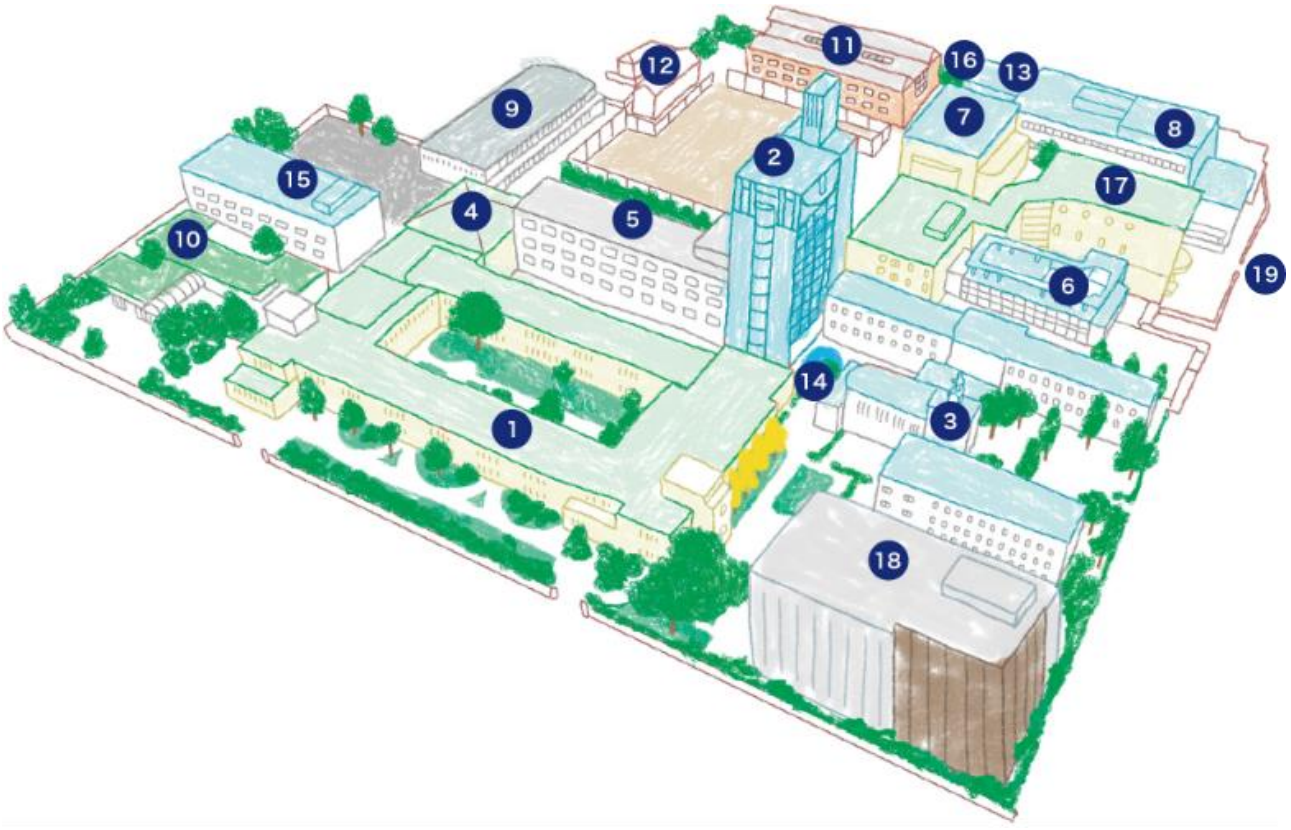
第2報告：「淡路島北部地域での地域開発の変容と企業進出（仮）」
報告者　都築 則彦（千葉大学）中島 みゆき（東京大学）前島 訓子（愛知淑徳大学）八木 寛之（長崎県立大学）

12月14日（日）開催の第３回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い

１．会場にご参加のみなさま

会場：ノートルダム清心女子大学1202JA教室（セント・ヨゼフホールA棟2階）

アクセス：JR各線・岡山電鉄「岡山駅」下車。徒歩約15分。
https://www.ndsu.ac.jp/about/pdf/seishin_map202106.pdf



会場は東門から一番近いセント・ヨゼフホールA棟（マップの⑰）の2階です。

＜会場校からのお願い＞

準備の都合上、研究例会および懇親会への参加をすでにお決めくださっている場合は、事前に二階堂（nikaidoy@m.ndsu.ac.jp）へご連絡いただけますと大変ありがたく存じます。もちろん、事前連絡なしのご参加も問題ありません。

なお、懇親会は、18時より、岡山駅から徒歩5分の場所にある以下の店で開催する予定です。
「鳥好 駅前本店」
https://tabelog.com/okayama/A3301/A330101/33006041/

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

二階堂裕子

２．オンラインでの参加のみなさま

＜事前の準備のお願い＞

- ◆ 事前に Zoom のアプリをインストールしておいてください。インストール済みの方は、「アップデートを確認」で最新バージョンに更新しておいてください。
- ◆ Zoom のアクセス方法等は、開催 2 日程度前をめどに、会員メーリングリストで配信します。
- ◆ Zoom のリンクやミーティング ID、パスワードは、他人に教えないでください。

＜当日のお願い＞

- ◆ 待機室を設定している場合、所定時刻の 5 分ほど前に設定を解除して入室できるようにします。
- ◆ ただし、直前の打ち合わせが長引くなどで、待機室の設定解除が遅れることもあります。その場合は待機室でお待ちください。
- ◆ ミーティングルームに入ったら、司会者と報告者以外は、マイクは「ミュート」にして、発言時のみ「ミュート解除」にしてください。ビデオはオンでもオフでも結構です。適切な操作がなされていない場合には、主催者がミュートにするなどの操作をすることがあります。
- ◆ 画面に表示する氏名は、「フルネーム（所属）」に変更しておいてください。
- ◆ 研究例会は、研究委員会が記録用にレコーディングします。接続・参加をもってレコーディングに承諾いただいたものとみなします。研究委員会以外の方（報告者も含めて）が Zoom の画面を撮影したり、録画・録音したりすることは禁じます。

＜配布資料について＞

- ◆ 報告者から当日配布資料があるときは、Zoom　のチャット機能を利用して配布します。
- ◆ 配布のタイミングは、各報告の開始時と開始 10 分後の 2 回です。

＜質問・発言について＞

- ◆ 以下のいずれかの方法でお願いいたします。

①Zoom　の「リアクション」にある「手を挙げる」を表示させる。
②Zoom のチャットに、質問内容を書き込む
③Zoom のチャットに、質問がある旨を書き込む

＜Zoom 終了後の交流時間の取りやめについて＞

- ◆ オンライン開催では、研究例会の終了後もしばらく Zoom を開放し、報告者・参加者の交流の時間としてきましたが、今回はハイフレックス開催のため片付け等の都合から、Zoom　での交流時間は設けないこととさせていただきます。

＜当日の Zoom 操作に関する相談窓口＞

- ◆ 当日、「接続できない」などの不測の事態に備えて、Zoom操作に関する相談窓口としてサポートセンターを開設します。メールでご連絡ください。

当日サポートセンターの連絡先

- ◇ メールアドレス　saito-asato-nb[アット] ynu.ac.jp［アット]を@にしてください。
- ◇ 当日配布資料の再配布はありません。

＜問い合わせ先＞

- ◆ 当日の Zoom 操作に関すること以外は、研究委員長（室井研二、muroi.kenji.w9 [アット] f.mail.nagoya-u.ac.jp）までメールでお問い合わせください。[アット]を@にしてください。

１．　理事会からの報告

2025 年度地域社会学会第 2 回理事会は、2025 年 10 月 12 日（日）15 時～17 時までオンラインで行われました。出席者は以下の通りです（敬称略）。

齊藤麻人、阪口毅、佐藤洋子、清水洋行、武田俊輔、辻岳史、二階堂裕子、平井太郎、藤井和佐、前島訓子、松宮朝、三浦倫平、室井研二、望月美希、山口博史、渡邊隼

理事会では報告事項 5 件、審議事項 6 件が議論されました。

（齊藤麻人）

２．　研究委員会からの報告

去る 10 月 12 日（日）に 2025年度第 2 回研究例会が、立教大学池袋キャンパスにて開催されました。平井太郎会員から「惑星的に地域を考えるということ　いまふたたび費孝通と対話する」、若手企画WG日立班（伊藤雅一会員、大和田奈津会員、酒井晴香会員）からは「企業城下町において周辺化された存在としての人々や場所：日立市で維持される共助的地域拠点を事例として」と題する報告があり、活発な質疑が繰り広げられました。その詳細は『地域社会学会ジャーナル』第23号の報告論文と批評論文をご参照ください。

10月28日には今年度第3回目の研究委員会をオンラインで開催し、今後の研究例会や大会シンポジウムの趣旨や登壇者の人選、研究例会の開催回数、今後の若手支援のあり方について検討しました（出席者：室井研二、二階堂裕子、矢部拓也、佐藤洋子、辻岳史、原田峻、吉村真衣）。

第3回研究例会は12月14日（日）にノートルダム清心女子大学で開催されます（ハイブリッド形式）。齊藤康則会員には災害と気候変動の関連や適応対策について、若手企画WGの皆さんには淡路島でのフィールド調査の研究成果について講演頂く予定です。首都圏からは遠方の地での開催になりますが、多くのみなさまのご来訪をお待ちしています。

（室井　研二）

３．　編集委員会からの報告

10月1日に第2回編集委員会をオンラインで開催しました。9月末締切で7本の自由投稿論文の提出があり、査読担当者を決定しました。お忙しいなか、査読をお引き受けくださった会員の皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

（松宮　朝）

４．　国際交流委員会からの報告

地域社会学会が協賛する、一橋大学・林真人研究室主催の英語執筆／出版に関するレクチャーおよび公開ワークショップが、2月17日（火）および20日（金）が開催されます。講師は、1990年代からSageジャーナルCritical Sociologyの編集者を務めてこられ、米国の社会学分野で幅広く活躍されてきた、米国人社会学者デヴィッド・ファセンフェスト氏（David Fasenfest）です。地域社会学会会員はどちらも参加可能ですが、17日は申し込み不要、20日は12月末までに申し込みの必要があります。詳細はメーリングリストおよび下記HPを参照してください。
https://davidfasenfest.wordpress.com/

ISA／RC21国際研究集会が2026年7月20～22日にウィーンにて開催されます。発表申し込みの締め切りは12月29日です。以下のサイトを確認の上、お申し込みください。

https://rc21-vienna2026.org/call-for-abstracts

（小山弘美）

５．　学会ウェブサイト変更について

地域社会学会では会員管理システムに SMOOSY を使用していますが、この度、ウェブサイトについても SMOOSY を運営するアトラス社の仕様に変更され、運用を開始したのでお知らせします。な

お、旧ウェブサイトも当面の間は併存します。

旧）https://jarcs.sakura.ne.jp/
新）https://jarcs.smoosy.atlas.jp/ja

（ウェブサイト担当　山口博史）

６．　研究例会の開催回数について

地域社会学会の研究例会は、これまで年４回開催されてきました。

しかし、今年度から学会50周年事業に関連した報告がなくなり、各回２人の報告者と批評論文執筆者を確保することが大変になっていること、地域社会学会ジャーナルが新設されたことで編集業務の負担が増したこと、くわえて学内業務の増加による大学教員の繁忙化といった現実があり、従来の回数を維持することが困難になってきています。

そのため、事務局や研究委員会、ひいてはジャーナル執筆会員の負担を軽減し、研究活動の質の向上や活動体制の改善を目的に、開催回数を３回に削減することを検討しています。

昨年度、研究委員会や理事会で検討の上、理事会承認をもって５月の学会総会で本件について報告したところ、さまざまなご意見をいただきました。長年続いてきた研究会回数を変更するという案件ですからご意見を受け止め、理事会として本件をいったん取り下げました。以後、引き続き検討を重ねてきているところです。

その結果、研究例会の開催回数を減らすか、維持するか、それとも他の改善策がないか、広く会員の皆様にご意見を募ることにしました。会員用メーリングリストにてGoogle Formをお送りしますので、ご協力をお願いします。

提出されたご意見を参考に、最終的な判断を行いたいと思います。

なお記名としておりますが、理事会外にお名前が公表されることはございません。忌憚なくご意見をお聞かせいただけましたら幸いです。

（研究委員会委員長　室井研二）

７．　事務局からの報告とお願い

（１）会費納入状況

2025年11月30日時点の会員は405名（一般339名、院生42名、終身24名）で、2025年度の会費納入率は63％でした。

（２）会報247号・ジャーナルNo.22の発行

地域社会学会会報247号と地域社会学会ジャーナルNo.22が学会ＨＰ上で発行されました。

（３）会費納入のお願い

2025年度会費につきましては、7月1日付で納付のご案内を発出しています。**引き続き会費納入にご協力をお願いします。**

（４）会員の研究成果情報の提供のお願い

2024年以降の研究成果に関する情報を募集しています。用紙（地域社会学会WEBサイトからダウンロードできます）の情報を、事務局宛のメールでお送りください。ご協力よろしくお願いします。万一、情報を提供したのに掲載されていないなどの手違いがございましたら、事務局まで御一報くださいますようお願いします。

（齊藤麻人）

８．　会員異動

＜新入会員＞

丹羽梓（無所属）公立ホールでの市民文化活動（推薦人：齊藤麻人）

小原直将（関西学院大学大学院）災害復興と専門知の役割（推薦人：菅磨志保）

（以上、2025年10月12日理事会で承認）

９．　会員の研究成果情報（2024～2025 年度）

2025 年度［著作］

橋本和孝編『周辺から照射する近現代社会－短歌の社会学－』、橋本社会文化の部屋、Amazon Services Intenational、 2025 年 8 月

１０．理事会のご案内

第３回理事会

日時　12 月 14 日（日）午前 10 時半～

場所　ノートルダム清心女子大学 1202JA 教室